2022年4月14日
第130号
NRU
国労九州
〒812-0013　福岡市
博多駅東3丁目9番3
号ニッコーハイツ1003
092-483-1515
発　責　千々岩隆
編　責　水流　彰

ロシアによるウクライナの侵略に断固抗議！

空爆されたマウリポリの劇場　300 人以上が犠牲に！

２月２４日にロシアがウクライナに軍事侵攻を行ってから一カ月以上が経過しました。毎日のようにニュース報道や新聞等で報告されていますが、ロシア軍の軍事侵略により、多くの地域で市民への残虐行為が明らかにされてきました。首都のキーウの近郊では道路に多数の市民の遺体が放置されて、少なくとも５００人以上が殺害されたとしています。また遺体に残る拷問・暴行後の痕跡を残すために遺体を焼却していることも判明。国際人道法違反と指摘されています。地元メディアによると男女・子供らに性的虐待の疑いもあるとして戦争犯罪として調査していくことも報道しているなどロシア軍の残虐性が明らかとなっています。５日に緊急安保理会議が開催され、安保理常任理事国のロシアが国連憲章に違反して侵略したと名指して批判した上で即時に和平の真剣な交渉が必要」とせまりました。また、侵略にあたり、核の使用の言及やチェルノブイリ原発への攻撃をおこなってきましたが、唯一の被爆国として到底容認されるものではありません。ウクライナの国民がこれ以上犠牲にならないように各国が一体となって戦争終結への支援・努力を行っていく必要があります。また残虐行為の真相を明らかにして、その責任の追及が求められています。今、日本では、このウクライナの現状を見て、憲法９条では守れない。自衛隊の軍備増強と改憲をすべき、敵基地攻撃の装備が必要と軍備増強を煽る声がたかまっています。また安倍元首相は、アメリカとの核兵器共有」を考えるべきとか、日本維新の会の松井代表は非核三原則は昭和の価値観」と言い出す始末です。本当に必要なのは、いさましく軍備増強に走るのではなく冷静になって、戦争行為の悲惨さを広げながら、非軍事支援の先頭に立ち国際世論でこの蛮行をやめさせることに全力をあげるしかありません。国労は平和と民主主義を守るため全力で奮闘します。

粉砕されたロシアの装甲車両